鶴澤　友之助

高４７期

文楽　三味線奏者

登美丘高校100周年おめでとうございます。

もし在校生だったころの僕が、「将来、登美高の100周年卒業生メッセージを頼まれるよ」と聞いたら、「俺が？もっと立派な奴いてるやろ。」とかなんとか言うやろなぁ…と思いながら、昔を思い出して書いています。

あのころの僕はクラシックギター・エレキベースに夢中で、17歳のころにはフラメンコギターとコントラバスにも手をだして、学校を休んで演奏のバイトに行ったり、学校では音楽室にこもってギターを弾きまくったりしていました。
今は文化祭でライブはできますか？僕の時は、文化祭でライブは禁止だったんです。でもどうしても学校でライブがしたくて、みんなで先生に猛抗議して、結局文化祭ではない日に視聴覚室を借りてやらせてもらいました。僕は3バンド掛け持ちして、ずっとステージにいて(笑)　今思うとやりたい放題でしたね。
そんな生活でしたので、将来はギターかベースで食べていこうと思っていました。文楽なんて想像もしてなかった。でも文楽の三味線の音は、高校生の頃に出会っていたんです。
17 歳のころテレビで文楽を知って、「この三味線の低音ええなぁ」と思って文楽劇場に問い合わせたら、「高校を辞めないと研修生になれない」と言われて。そのころ弾きたい楽器になんでも手を出していたので、同じように習ってみたかったのですがその時はあきらめました。ところが、コントラバスで芸大を受験しようとした試験前夜に盲腸が破裂して、受験も出来ずそのまま卒業してしまい…。1 年待ってもう一度芸大受験するかと考えたときに、思い出したのが文楽でした。

文楽研修生で2年、その後プロとしてデビューして、あっというまに20年が経ちました。登美高にいたころには想像もしなかった未来となりましたが、あそこで好きな楽器を好き勝手に弾きまくっていた日々は、今の僕の礎だと思います。僕を僕のままに見守ってくれた登美丘高校から、これからの100年もさまざまな個性が羽ばたくことを、同窓の一人として楽しみにしています。

■プロフィール

1980 年 11 月 12 日生　大阪府堺市出身

1998 年 3 月　登美丘高校卒業

2000 年 4 月　国立劇場文楽第 19 期研修生となる

2002 年 4 月　豊澤龍爾と名のる

2002 年 7 月　国立文楽劇場で初舞台

2017 年 5 月　鶴澤友之助と改名

＜URL＞　https://www.instagram.com/tsurusawatomonosuke/